B版　新聞定価一カ月前金¥53円・一部(二頁)金3円50銭(四頁)2円50銭　(第三種郵便物認可)　上毛新聞　昭和25年8月15日（火曜日）　第21708號　(2)

暗い"あれから五年目"明るい

行列買いも昔の夢

街にあふれる物資

あれから五年、八月十五日は忘れられない平和記念日、振りかえろうてみると早いあれから五年であったが、この間に縣民の生活は變って來た、大分生活がよくなったともいう、イヤまだ苦しい、この世はヤミだともいう、縣民生活明暗のコントラストをとらえて見よう

長蛇の列で配給物を買った戦時中の苦しさはもちろん、戦後間もない頃の買出しやらヤミ買いやら、終戦五年目の今では〝無いもののない〟現在の高度に整備した商店街に優秀、繊維製品が次々と続出するなど、物資が豊富になったことは確かだ、しかし一般大衆の購買力はどうかというと、これは大いに疑問があるところだ、ここ数年来の物価の値上がりに比べて賃金の値上がりは遅れがちで、実質賃金は戦前の半分にも達しないといわれている、ここに物資豊富の裏面に隠れた大衆の苦悩がある、物資豊富の裏面を探ってみよう

エチケット復活

腰掛られる汽車旅行

「鉄道は世の中についてゆくのがやっとです」と業務課の某氏、「それだけに毎日のように新しい問題が起こります、例えば戦時中は乗車券を買うのに行列をしなければならなかったが、今は窓口で買えるようになったし、また